

平成 29 年度内閣官房補正予算（案）について

平成 29 年 12 月 22 日

内閣官房計 175.7 億円

(1) 安全保障及び危機管理体制の強化を図るための緊急事態対処の強化 2.6 億円

政府の緊急事態への対処及び危機管理体制を強化するため、官邸危機管理センター情報通信機器の改修等を行う。また、国民保護の態勢強化に向けた避難・救援・災害対処等に関する情報発信に必要な機器の改修を行う。
(事態対処・危機管理担当)

(2) 安全保障及び危機管理体制の強化を図るための情報収集の強化 17.2 億円

北朝鮮による核実験の強行、我が国上空を通過するミサイルの連続発射、国際テロの脅威の拡散・深刻化、サイバー攻撃など、情勢の緊迫の度が急激に増している中、我が国の安全保障・危機管理のため、初動体制強化と情報収集・分析能力の強化を図る。(内閣情報調査室)

(3) 安全保障及び危機管理体制の強化を図るための情報収集衛星の開発 134.9 億円

北朝鮮情勢への対応等のため、衛星開発に必要な部品等の早期調達等を行い、情報収集衛星システムの開発を着実に進める。(内閣衛星情報センター)

(4) 安全保障及び危機管理体制の強化を図るためのサイバーセキュリティ対策の強化 21.0 億円

近時、北朝鮮によるサイバー攻撃等の脅威が格段に高まっていることから、我が国の関係機関におけるサイバーセキュリティに係る緊急点検の実施、関連情報の収集分析の強化、我が国の関係機関におけるサイバー攻撃等に対する防御態勢の強化を行う。(内閣サイバーセキュリティセンター)